

入試結果

愛知淑徳 大学

志願者数が 1万人を超える

平成17年度入試は、6学部体制になつて2年目となり、センター試験利用入試も、新設の医療福祉学部でも実施し、全学部同日で行いました。

今年の総志願者数は、1万1159人。昨年は、9820人でしたから、約14%増で、初めて1万人を超えました。受験生が1万人を超える大学は、近隣では他に数校しかありませんが、いずれも本学より学部や定員の多い大学です。で、本学の規模にしては志願者が多かったことをありがたく思っています。

一般入試では、例年通りA・B・Cの3方式で実施していますが、C方式は3学科併願が可能な制度を導入したこともあって、昨年の60%増の志願者がありました。全方式の志願者数は、834

*コミュニケーション学部の「コミ心理」は「コミュニケーション心理学」、
「言語コミ」は「言語コミュニケーション学科」です。

センター試験利用入試

学部	学科(専攻)	募集人員	志願者数	合格者数	倍率
文	国 文	4	77	41	1.9
	英 文	4	38	16	2.4
	図書館情報	5	75	27	2.8
現代社会	現代社会	15	193	96	2.0
コミュニケーション	コミ心理	8	95	45	2.1
	言語コミ	5	70	28	2.5
ビジネス	ビジネス	10	196	129	1.5
文化創造	表現文化	5	55	27	2.0
	多元文化	5	42	22	1.9
医療福祉	福祉貢献	5	55	31	1.8
	言語聴覚学	2	36	15	2.4
	視覚科学	2	25	7	3.6

3人。昨年よりも17%増でした。ただし、学部・学科ごとに見ると、隔年現象的な増減が表われています。A方式(2教科)とB方式(3教科)の志願者はB方式の方がはるかに多いのが注目されます。

公募制推薦入試は、1096人。昨年は1134人でしたから、10%余りの減少です。実はこの入試のみが昨年より減少しているのですが、その理由は定かではありません。本学の公募制推薦入試は、書類審査、小論文、面接の3項目の総合点によって合格者を判定するオンラインテストな入試制度です。

センター試験利用入試とアドミッションズ オフィス(AO)入試は、ほぼ前年と変わらない志願者数でした。

全体として志願者数が増えたことは、本学に対する期待が大きいかと受けとめ、期待に心えるべく、全学をあげて努めたいと思っています。

公募制推薦入試(自己推薦型)

学部	学科(専攻)	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
文	国 文	15	79	78	25	3.1
	英 文	15	57	57	38	1.5
	図書館情報	20	59	59	28	2.1
現代社会	現代社会	50	158	155	72	2.2
コミュニケーション	コミ心理	30	87	86	42	2.0
	言語コミ	25	106	105	39	2.7
ビジネス	ビジネス	35	98	97	48	2.0
文化創造	表現文化	25	140	139	32	4.3
	多元文化	25	70	70	37	1.9
医療福祉	福祉貢献	30	118	118	51	2.3
	言語聴覚学	9	66	65	16	4.1
	視覚科学	9	58	57	18	3.2

一般入試A方式(2教科入試)

学部	学科(専攻)	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
文	国 文	18	244	243	75	3.2
	英 文	18	154	151	94	1.6
	図書館情報	20	253	247	64	3.9
現代社会	現代社会	70	675	670	229	2.9
コミュニケーション	コミ心理	35	363	358	114	3.1
	言語コミ	20	297	297	69	4.3
ビジネス	ビジネス	40	359	350	110	3.2
文化創造	表現文化	25	262	259	61	4.2
	多元文化	25	166	165	89	1.9
医療福祉	福祉貢献	25	151	150	48	3.1
	言語聴覚学	10	133	130	22	5.9
	視覚科学	10	124	122	22	5.5

アドミッションズ オフィス(AO)入試1期

学部	学科(専攻)	募集人員	志願者数	1次審査合格者	2次審査受験者	2次審査合格者	倍率
文	国 文	若干名	8	4	4	2	4.0
	英 文	若干名	3	2	2	2	1.5
	図書館情報	若干名	8	6	6	2	4.0
現代社会	現代社会	若干名	31	11	11	6	5.2
コミュニケーション	コミ心理	若干名	17	7	7	4	4.3
	言語コミ	若干名	21	4	4	3	7.0
ビジネス	ビジネス	若干名	17	7	7	6	2.8
文化創造	表現文化	若干名	21	5	5	4	5.3
	多元文化	若干名	11	5	5	3	3.7
医療福祉	福祉貢献	若干名	12	5	5	3	4.0
	言語聴覚学	若干名	15	2	2	1	15.0
	視覚科学	若干名	4	2	2	1	4.0

一般入試B方式(3教科入試)

学部	学科(専攻)	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
文	国 文	23	257	254	162	1.6
	英 文	23	262	250	118	2.1
	図書館情報	30	269	261	119	2.2
現代社会	現代社会	80	784	770	334	2.3
コミュニケーション	コミ心理	45	463	452	182	2.5
	言語コミ	35	461	460	212	2.2
ビジネス	ビジネス	50	400	394	170	2.3
文化創造	表現文化	35	284	277	144	1.9
	多元文化	35	262	258	125	2.1
医療福祉	福祉貢献	35	226	219	125	1.8
	言語聴覚学	12	156	154	48	3.2
	視覚科学	12	154	154	31	5.0

アドミッションズ オフィス(AO)入試2期

学部	学科(専攻)	募集人員	志願者数	1次審査合格者	2次審査受験者	2次審査合格者	倍率
文	国 文	若干名	2	1	1	1	2.0
	英 文	若干名	3	2	2	2	1.5
	図書館情報	若干名	3	3	3	2	1.5
現代社会	現代社会	若干名	14	10	10	6	2.3
コミュニケーション	コミ心理	若干名	8	5	5	3	2.7
	言語コミ	若干名	12	5	5	3	4.0
ビジネス	ビジネス	若干名	8	5	5	4	2.0
文化創造	表現文化	若干名	10	3	2	1	10.0
	多元文化	若干名	6	4	4	3	2.0
医療福祉	福祉貢献	若干名	5	2	2	2	2.5
	言語聴覚学	若干名	3	1	1	1	3.0
	視覚科学	若干名	2	2	1	1	2.0

一般入試C方式(1教科入試)

学部	学科(専攻)	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
文	国 文	4	46	43	6	7.2
	英 文	4	54	51	8	6.4
	図書館情報	5	53	48	9	5.3
現代社会	現代社会	15	259	246	32	7.7
コミュニケーション	コミ心理	8	106	95	16	5.9
	言語コミ	5	142	126	10	12.6
ビジネス	ビジネス	10	167	150	20	7.5
文化創造	表現文化	5	70	69	8	8.6
	多元文化	5	79	76	8	9.5
医療福祉	福祉貢献	5	64	62	7	8.9
	言語聴覚学	2	77	73	9	8.1
	視覚科学	2	67	65	10	6.5

平成17年度



愛知淑徳 高等学校

実質競争倍率は
1.5倍をキープ

推薦入学試験実施日 1月31日(月)
一般入学試験実施日 2月9日(水)
入学者総数 397人

・本校の推薦入学試験は指定校推薦、公募推薦の2種類で行われておりますが、公募推薦は志願者数が多く1.3倍の倍率となり、成績・活動歴・特技・面接による総合評価で選考が行われました。
・一般入試は982人の志願者があり、実質競争倍率は昨年と同じ1.5倍となりました。共学志向の強まり、また共学化する学校の増加により、志願者数は漸減傾向にあります。

平成17年度入試科目平均点

科目	平均点
国語	65.3(63.5)点
数学	44.2(57.6)点
英語	83.9(62.4)点
計	193.4(183.5)点
合格最低点	184(170)点

*()内は昨年度。

愛知淑徳 中学校

志願者が1000人を超え
実質競争倍率は2.1倍に

本校の入試は、今年も2月の第1日曜の2月6日(日)に実施しました。本校を含めた他校の入試日程は、金城学院中および聖霊中が2月5日(土)、椋山女子学園中が本校と同じ6日(日)、南山中(女子部)が11日(建国記念の日)、そして滝中が13日(日)でした。一昨年度から滝中と南山中女子部が併願可能となり、今年度は金城学院中と聖霊中が同日(日)になりました。また、金城学院中は今年度24科選択制入試に移行し、椋山中が4科入試に切り替わるなど、今年も日程を含めて各校が目まぐるしく制度を変更させました。

愛知県における小6年の児童数は今後数年間は増加傾向にあります。今年度6万9365人。昨年度比570人増。

これらの状況の中で、本校への志願者は1005人と6年ぶりに4桁となり、受験者は962人で、志願者は昨年度比106%、受験者は昨年度比103%となりました。入試科目を2科4科選択制に変更してから3年目となりましたが、4科での受験者が全体の92%と層多くなりました。選抜状況は、まず第1段階選抜全

受験者対象国・算の2科目合計200点(選抜)で合格者327人を出しました。この内訳は、2科受験者15人、4科受験者312人でした。次に第2段階選抜4科受験者で先の選抜にもれた者対象、国・算・社・理の4科目合計300点(選抜)として残りの92人の合格者を出しました。繰り上げ合格者を30人出しましたので、合格者は最終的に449人となり、実質

競争倍率は2.1倍となりました。第1段階選抜の合格最低点は109点、第2段階選抜の合格最低点は160点で、それぞれの得点率は54%、53%という結果になりました。入学者は最終的に198人となりました。なお、来年度以降の中学校入試については、受験科目を4科のみとし、同時に定員を80人増やす予定であります。

入試科目と時間・配点・受験生の平均点

科目	時間	配点	受験生の平均点
国語	50分	100点	51.1(64.4)点
算数	50分	100点	45.7(41.1)点
社会	合わせて 50分	50点	32.8(36.1)点
理科		50点	23.0(24.0)点

*()内は昨年度。

合格者の平均点と最高・最低点

科目(配点)	平均点	最高点	最低点
国語(100)	65.1点	93点	30点
算数(100)	55.8点	92点	30点
社会(50)	37.0点	49点	12点
理科(50)	27.3点	44点	17点

*第1段階選抜と第2段階選抜を合わせたすべての合格者を含むもの。